

製品名: FPRL2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11125**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	FPR3
別名	FPR3; FPRH1; FPRL2; N-formyl peptide receptor 3; FMLP-related receptor II; FMLP-R-II; Formyl peptide receptor-like 2
遺伝子 ID	2359.0
SwissProt ID	P25089
免疫原	抗血清はヒト FPRL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 304-353

背景

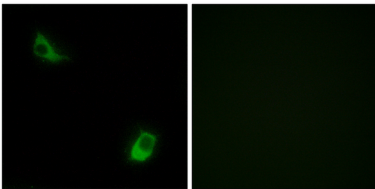
機能: 強力な好中球走化因子である N-ホルミルメチオニルペプチドに対する低親和性受容体。FMLP が受容体に結合すると、好中球

が活性化される。この反応は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャー系を活性化する G タンパク質を介して行われる。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。機能: 強力な好中球走化因子である N-ホルミルメチオニルペプチドに対する低親和性受容体。FMLP が受容体に結合すると、好中球が活性化される。この反応は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャー系を活性化する G タンパク質を介して行われる。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



FPRL2 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。